

交流分析と 人格適応論を ふまえた学生対応

アメリカの精神科医 Eric Berne によって「お互いに反応しあっている人々の間で行われる交流を分析すること」を目的として開発された「交流分析」の理論を元に、コミュニケーションにおける交流のパターンと、学生のタイプによって効果的な対応や苦手な対応を解説します。

さらに、自分の問題にも学生対応にも役に立つ「認知にアプローチ」「感情にアプローチ」「現実問題にアプローチ」の使い分けと、学生の相談にのる際のコツや注意点などもお伝えできればと思います。



日時 **2023.7.27 [木]**
15:00～16:30

場所 **金研講堂 + ZOOM オンライン配信**

対象：金属材料研究所に所属する教職員
(対象者以外については、オンライン聴講にて参加可)

講師

東京大学物性研究所
「教職員・学生相談室」
菱沼 有美 講師



東大物性研究所・大阪市立大学・東大物性研究所と約30年間秘書業務に携わる傍ら、2009年度から相談員に従事。2018年11月公認心理師、2020年4月に臨床心理士を取得。現在は相談室8、研究室2の割合で勤務をしている。

事前申し込み不要

※現地参加の場合は、当日受付にて参加者情報をご記入いただきます。
※参加情報については、金研 HP イベント情報をご覧ください。

Zoom 参加者用登録
はこちらから。



主催 金属材料研究所 学生・教職員相談支援室

問い合わせ先

東北大学金属材料研究所総務課総務係
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1
Tel : 022-215-2181 E-mail : imr-som@grp.tohoku.ac.jp

本セミナーは「東北大学における公正な研究推進のための研究倫理教育実施指針」におけるレベル4～6の方を主な対象としています。

